

平成23年9月

太田市外三町広域清掃組合議会定例会

会 議 録

太田市外三町広域清掃組合

平成23年9月太田市外三町広域清掃組合議会定例会会議録

平成23年10月12日（水曜日）

1. 出席議員

2番	太田 けい子	議員	3番	大島 正芳	議員
4番	深澤 直久	議員	5番	渋澤 由紀子	議員
6番	白石 さと子	議員	7番	大野 貞夫	議員
8番	立沢 稔夫	議員	9番	村山 博茂	議員
10番	青木 満	議員	11番	安田 博敏	議員
12番	富岡 芳男	議員			

2. 欠席議員

1番 稲葉 征一 議員

3. 説明のために出席した者

管理者	清水 聖義	副管理者	斉藤 直身
副管理者	金子 正一	副管理者	大谷 直之
代表監査委員	高橋 嘉一郎	会計管理者	堀口 敬子
局長	北爪 宏	副局長	八代 敏彦

4. 事務局出席者

議会事務局長	野村 恵一	課長補佐	菌田 安男
総務課長	五十嵐 一二三	主任	岡部 智康
係長	阿部 昌夫		
主事	武内 一也		

議 事 日 程（第 1 号）

平成 23 年 10 月 12 日 午後 1 時 30 分 開議

太田市外三町広域清掃組合議会議長 白石 さと子

会議に付した事件及び順序

第 1 会期の決定

第 2 会議録署名議員の指名

第 3 議案第 5 号 平成 22 年度太田市外三町広域清掃組合一般会計歳入歳
出決算認定について

第 4 議案第 6 号 平成 23 年度太田市外三町広域清掃組合一般会計補正予
算（第 1 号）について

◎開 会

午後 1 時 3 0 分開会

○議長（白石さと子） これより、平成 23 年 9 月太田市外三町広域清掃組合議会定例会を開会致します。

◎開 議

○議長（白石さと子） これより本日の会議を開きます。

◎日程の報告

○議長（白石さと子） 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布申し上げたとおりであります。その順序により会議を進めたいと思いますのでご了承願います。

◎会 期 の 決 定

○議長（白石さと子） 始めに日程第 1、会期の決定を議題と致します。今、定例会の会期は、本日 1 日と致したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」）の声

○議長（白石さと子） ご異議なしと認めます。

よって会期は本日 1 日と決定致しました。

◎会議録署名議員の指名

○議長（白石さと子） 次に、日程第 2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、組合議会会議規則第 61 条の規定により、議長において 1 番、富岡芳男議員、2 番、太田けい子議員を指名致します。

◎議 案 上 程

「議案第 5 号 平成 23 年度太田市外三町広域清掃組合一般会計歳入歳出決算認定について」

○議長（白石さと子） 次に日程第3、議案第5号を議題と致します。

◎提案理由の説明

○議長（白石さと子） 朗読を省略し、ただちに理事者から提案理由の説明を求めます。

（北爪局長挙手）

○議長（白石さと子） 北爪局長。

○組合局長（北爪宏） 議案第5号 平成22年度太田市外三町広域清掃組合一般会計歳入歳出決算認定につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。議案書の1ページをお開き願います。

本決算認定は、地方自治法第233条第3項の規定により、平成22年度の当組合の決算認定をお願いするものでございます。詳細は別冊になっております平成22年度太田市外三町広域清掃組合歳入歳出決算書、A4版横長の書類をご覧くださいと思います。

決算書の2ページをお開き願います。一般会計の決算につきましては、歳入決算額は、7億8千352万8千708円でございます。

歳出決算額は、7億792万2千478円であり、歳入歳出差引額は、7千560万6千230円で、うち4千万円を基金繰り入れさせていただき、残りの3千560万6千230円を翌年度へ繰り越しさせていただきました。

それでは、歳入歳出の明細につきましてご説明を申し上げます。

まず、歳入についてでございますが、5ページをお開き願います。

1款1項1目市町村負担金5億9千253万8千円につきましては、経常費と建設事業費を合計した各構成市町の分担金でございます。

2款2項1目衛生手数料1千786万6千940円につきましては、廃棄物処理手数料でございます。

3款1項1目繰入金につきましては、収入はございませんでした。

4款1項1目繰越金2千404万41円につきましては、平成21年度からの繰越金でございます。

5款2項1目雑入1億4千908万3千727円につきましては、6ページに記載されておりますが、資源化物売払収入1億4千732万2千840円及び再生品売払収入171万4千600円並びに雑入4万6千287円でございます。

以上、歳入合計収入済額は7億8千352万8千708円でございます。

続きまして歳出についてご説明申し上げます。7ページをご覧いただきたいと思ひます。

1款1項1目議会費20万6千11円につきましては、議員報酬及び消耗品等でございます。

2款1項1目一般管理費8千575万302円につきましては、主に組合職員の人件費及び事務経費でございます。

9ページをご覧いただきたいと思ひます。

3款1項1目清掃事業費4億6千581万3千553円につきましては、リサイクルプラザ運転管理業務委託料、ごみ処理設備修繕等の需用費、各種業務委託料等が主なものでございます。

11ページをご覧いただきたいと思ひます、

4款1項公債費、1億5千615万2千612円につきましては、財政融資資金借入金元利償還金でございます。

5款1項予備費につきましては支出致しませんでした。

以上、歳出合計支出済額は7億792万2千478円でございます。

次に、12ページの実質収支に関する調書につきましては、ご覧のとおりでございます。

13ページの財産に関する調書でございますが、1の公有財産、2の物品につきましては、前年と同様でございます。3の基金につきましては、5千万円を積み立て決算年度末現在高は4億7千万円でございます。

以上で議案第5号についての説明を終わりますが、既に監査委員の審査を終了してございまして、別添の監査委員の意見書を付してご提案申し上げますので、宜しくご審議の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

◎監査委員からの報告

○議長（白石さと子） 次に、高橋代表監査委員から報告を求めます。

（高橋代表監査委員挙手）

○議長（白石さと子） 高橋監査委員。

○監査委員（高橋嘉一郎） それでは、ご指名によりまして、平成22年度太田市外三町広域清掃組合一般会計歳入歳出決算の審査結果をご報告申し上げます。

去る7月27日、富岡監査委員と共に、地方自治法第233条第2項の規定に基づき、管理者より審査に付されました平成22年度太田市外三町広域清掃組合一般会計歳入歳出決算の審査に当たりまして、歳入歳出決算書及び付属書類につ

いて関係帳簿と照合し、計数の確認を行うと共に予算の執行状況及び財産運営につきまして審査を行いました。更に定期監査並びに出納検査の結果及び資料等を参考として執行したものでございます。

審査意見書の2ページをご覧ください。平成22年度太田市外三町広域清掃組合一般会計につきまして総括的概要を申し上げます。

総計決算額は、歳入7億8千352万8千708円に対しまして、歳出7億792万2千478円でありました。差し引き残額は7千560万6千230円となっております。

次に、3ページでは歳入決算額について記載してございます。予算現額7億5千56万9千円に対しまして、収入済額は7億8千352万8千708円でありました。収入率は104.4パーセントでございます。なお、款別決算状況は表3に記載してありますので、後ほどご覧いただくことと致しまして、説明は省略させていただきます。

次に、4ページの歳出決算額について申し上げたいと思います。予算現額7億5千56万9千円に対しまして、支出済額は7億792万2千478円でありました。執行率は94.3パーセントでございます。なお、款別決算状況は表5に記載してあります。

次に、5ページからの実質収支に関する調書及び財産に関する調書につきましては、その計数は正確であるということが認められました。

以上、平成22年度太田市外三町広域清掃組合一般会計の決算審査の結果につきまして申し上げましたが、審査の結果、関係諸帳簿の照合による計数は正確であり、予算の執行、経理に当たりまして、地方自治法第2条に規定されております地方自治運営の基本原則にのっとり行財政が運営されており、本決算は適正なものと認めることが出来ました。

これからもリサイクルの推進と資源循環型社会の構築を目指し、施設の維持管理に当たりましては、経費の節減と合理化に努められますようお願い申し上げます。報告を終わらせていただきます。宜しくお願い致します。

○議長（白石さと子） これより質疑に入ります。

只今の説明に対し、ご質疑ございませんか。

（村山議員挙手）

○議長（白石さと子） 村山博茂議員。

○議員（村山博茂） 議席9番、村山博茂です。総括的に一点質問をさせていただきます。平成22年度の事業につきましては、歳入も4.1パーセント増であ

りまして、全体的にしっかりとやられていると思いますし、執行部の皆様方の努力に敬意と感謝を申し上げる次第です。事業の今後の課題ということで、監査委員さんからもリサイクル率の更なる向上を目指して欲しいといったことが言われておりまして、1市3町における住民の分別の意識も年々向上しているとは理解をしているのですが、この現状のリサイクル率について質問をしたいと思いません。

平成22年度のリサイクル率が54.87パーセントと思いますけれども4～5年前のリサイクル率から見ますと、3ポイントほど向上していますので、努力の成果も表れていると思いますが、まず1点目には全国的なこのリサイクルセンターのリサイクル率というのは、どのレベルにあるというのは疑問を持ちまして質問をするところでもあります。

それから本清掃組合の目標とするリサイクル率、現在53.87パーセントですから半分くらいですが、これをどの程度のリサイクル率まで向上しようと考えているのかお聞かせ願いたいと思います。以上です。

(五十嵐課長挙手)

○議長（白石さと子） 五十嵐課長。

○組合総務課長（五十嵐一二三） 議員の質問にお答えさせていただきます。リサイクル率についてでございますが、まず1点当組合は不燃物に特化した施設でございますが、私どもの処理しているリサイクルは燃えないごみ、一部粗大の可燃ごみも処理してございますけれども、それらを受入したごみに対してどれだけ資源化をしたかが業務内容です。それに伴う実績としてのリサイクル率は先ほど議員さんが申し上げたとおり平成22年度の実績54.87パーセントということでございまして、ちなみに遡りますと平成21年度56パーセント、平成19年54パーセント、平成18年52パーセントであり、平成20年に75パーセントというときもありました。いずれにしましても平均的には概ね50パーセントを少し超えたところですが、ちなみにこの75パーセントの時はどうしたことかと言いますと、不燃ごみのうち再生できないものを処理している残渣を溶融処理していたことから、溶融スラグというものは再資源化されて道路材等に利用されるということで、資源化したということの扱いによってこの年だけ75パーセントと率が上がったということでもあります。

但し、この溶融経費というのは非常にかかっておりまして、そのためだけに率を上げるということは出来ません。次に私どもの施設は燃えないごみに特化された施設ですけれども、リサイクル率全体は国全体としては、燃えるごみ・燃えないごみ・資源ごみ全体の処理に対してどれだけかということを目指してござい

す。ちなみに手元にある資料一番新しい情報としておさえてあるものは平成19年度になりますが、全国平均では20.3パーセントという率をおさえております。ちなみに平成19年度太田市は22.9パーセントでございます。このような状況でございますが、いずれにしましても今後もこのリサイクル率を上げていくことは私ども当組合の大きな使命でございまして、努力をしていきたいと思っております。

また、1つはリサイクル率をどれだけ上げていけるかどうかですが、私どもは受入施設でございまして収集は各構成市町の行政・現場で収集を行っていただいておりますので、まずはその段階で分別収集の推進をお願いせざるを得ないわけですけれども、私ども組合で努力できることとしましては、毎年小学校の社会科見学として何千人かの単位で見学に来られています。その場でごみ収集の実態の話も多くさせていただきまして、それを通じて親御さん方にもごみの分別収集の推進を訴えかけております。ちなみにこの間、体験学習で4名の中学生が訪れましたけれども、私ども施設のごみ収集の現況と現場作業を見ながら、非常にごみ収集の重要さが良くわかったと。親にも伝えたいし、友達にも伝えたいというような感想文を後で書いてきていただいておりますけれども、そういった場を通じてリサイクルの推進を進めていきたいと思っております。

また、国全体としては分別収集としての中に更に家電の分別を拡大していくような情報もありますけれども、そういったことが推進されることによってリサイクル率の上昇が見込まれると考えております。以上でございます。宜しくお願い致します。

(村山議員挙手)

○議長(白石さと子) 村山博茂議員。

○議員(村山博茂) 今の答弁で全国レベルよりも若干高いという部分では喜べるのかなと思っております。要は不燃残渣と可燃残渣が半分くらい残るということで、平成20年度に溶融処理をした関係でリサイクル率が上がったということですが相当お金をかけるわけで、将来的な部分ではリサイクル率を上げるためにお金を投資しても、溶融処理をしながらでも率を上げたいという思いであるのか、全国レベルでもあるし、50パーセントくらいでいいかなと考えているのか、その溶融処理の部分にポイントを当てて質問をしたいのですが、宜しくお願い致します。

(五十嵐課長挙手)

○議長(白石さと子) 五十嵐課長。

○組合総務課長（五十嵐一二三） この溶融の件に関しましては、たまたまそのときに埋立処分する施設が事業者の事情によって受入が出来なくなったということで、急遽そのときに直ちに処分地が見つからない中で溶融処理という代替手段として行いました。経費的には埋立よりも相当要したわけではございますけれども、結果としては再資源化も図れるということもありましたが、いずれにしましても経費としてはやはり溶融処理の方がかかるということで現時点では溶融処理ということは考えておりません。またそれについては今後の検討課題だと考えております。以上です。

（大野議員挙手）

○議長（白石さと子） 大野貞夫議員。

○議員（大野貞夫） 議席7番の大野でございます。決算を見させていただきまして、一般会計で実質収支は黒字決算になっているという点においては概ね健全財政かなという感じは私も持っております。1つ初歩的な質問で申し訳ないのですが財産に関する調書ということで決算書の13ページの中で1番下の3番の基金というところがございます。この基金が前年度の現在高でいうと4億2千万円。今回の年度中の増減が5千万円の積み増しがなされております。そうしますと4億7千万円の基金残高があるわけでございます。この後、議案の第6号でもありますが、補正予算を組んでその後の平成23年度の予算が約7億6千800万円のうちの60パーセント近くが基金として現在積み立てられている計算になると思いますが、この基金の目的について説明をお願い致します。

（五十嵐課長挙手）

○議長（白石さと子） 五十嵐課長。

○組合総務課長（五十嵐一二三） この財政調整基金についてでございますが、当組合の施設平成16年に完成しまして、稼働しているわけでございますけれども建設事業費が約25億円かかっております。それらのうち機械設備類に約10億円投資してございまして、これらの設備について今現在は稼働して8年目ということでございますけれども、すでに少しずつ大きな機材の補修や摩耗という話が管理業者より届いております。そういったことを踏まえて突発的な大規模な故障、修繕に対応するための基金としてまずは必要なものであり、もう1点は25億をかけた施設が対応年数を仮に20年として考えた場合に、これから10数年後にはまた建替を考えるとといった場合に、またゼロからと考えるとやはりそれにも備えた基金が必要だろうということを加味した上で、このような基金を積立しているものでございます。

ちなみに平成21年にこの基金について上限を5億円と定めたのですが、現時点では今の機械設備類の損耗、老朽化等を考えた場合、5億円の基金では心許ないのではないかと。できるものならば、今事務局レベルで検討している段階ではございますけれども、将来的には基金はもっと蓄えていないと、いざというときに大変なことになるのではないかと危惧しております。いずれにしましても、将来長い先のこと、また当面の保守そういったものを含めたための基金でございます。宜しくお願い致します。

○議長（白石さと子） 宜しいですか。他に質疑はございませんか。
（「なし」の声）

○議長（白石さと子） 他に、質疑もないようですから、以上で質疑を打ち切ります。

◎討 論（終局）

○議長（白石さと子） これより討論に入ります。
討論ございませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（白石さと子） 別に、討論もないようですから、以上で討論を打ち切ります。

◎採 決

○議長（白石さと子） これより採決致します。
本案を原案のとおり、認定することに賛成の方は、挙手願います。
（挙 手 全 員）

○議長（白石さと子） 挙手全員。よって本案は原案のとおり認定されました。

◎議 案 上 程

「議案第6号 平成23年度太田市外三町広域清掃組合一般会計補正予算
（第1号）について」

○議長（白石さと子） 日程第4、議案第6号を議題と致します。

◎提案理由の説明

○議長（白石さと子） 朗読を省略し、ただちに理事者から提案理由の説明を求めます。

（北爪局長挙手）

○議長（白石さと子） 北爪局長。

○組合局長（北爪宏） 議案書の2ページをお開き願います。

議案第6号 平成23年度太田市外三町広域清掃組合一般会計補正予算（第1号）につきまして提案理由の説明を申し上げます。

別冊になっております平成23年度太田市外三町広域清掃組合一般会計補正予算書及び補正予算に関する説明書をご覧いただきたいと思っております。

今回ご提案いたします補正予算は、平成22年度決算に伴う繰越金の増額及び資源化物売払収入の増額と東日本大震災による災害瓦の処理経費及び事務管理経費等について補正をお願いするものでございます。

1ページをお開き願います。第1条につきましては、歳入歳出それぞれ5千330万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億6千830万6千円とするものでございます。内容につきましては、事項別明細書によりご説明申し上げます。

4ページをお開き願います。始めに歳入につきましてご説明申し上げます。4款1項1目1節繰越金でございますが、平成22年度決算が確定したことにより、既決額50万円に3千510万6千円を増額致しまして、3千560万6千円とするものであります。5款2項1目1節資源化物売払収入ですが、売却単価の見込等を勘案致しまして、1千820万円増額致しまして、1億2千520万円とするものであります。

続きまして5ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。2款1項1目一般管理費につきましては、6ページになりますが、総額で77万4千円を増額計上したものでございます。その内訳は、5ページに戻っていただきますが、2節給料、3節職員手当等、4節共済費については人事異動に伴いましてそれぞれ136万3千円、48万1千円、14万8千円を増額致したものでございます。11節需用費については、節電に伴う電気料金の低減に伴いまして126万円を減額するものであります。6ページになりますが19節負担金、補助及び交付金については、退職手当負担率の改定によりまして4万2千円を増額でございます。

次に、3款1項1目清掃事業費につきましては、総額で5千293万円を増額

計上致したものであります。その内訳は東日本大震災における災害瓦処理のための処理経費として5千223万円を増額するとともに高圧電源のブレーカーの精密点検が必要になったため70万円を増額致すものでございます。

5款予備費につきましては、39万8千円を減額しようとしたものでございます。

以上で議案第6号についての説明を終わりますが、宜しくご審議の上、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（白石さと子） これより質疑に入ります。

只今の説明に対し、ご質疑ございませんか。

（「なし」の声）

○議長（白石さと子） 別に、ご質疑もないようですから、以上で質疑を打ち切ります。

◎討 論（終局）

○議長（白石さと子） これより討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（白石さと子） 別に、討論もないようですから、以上で討論を打ち切ります。

◎採 決

○議長（白石さと子） これより採決致します。

本案を原案のとおり、可決することに賛成の方は、挙手願います。

（挙 手 全 員）

○議長（白石さと子） 挙手全員。よって本案は原案のとおり可決されました。

◎閉 会

○議長（白石さと子） 以上をもちまして、今、定例会の議事全てを終了致しましたので、これをもって閉会と致します。大変ありがとうございました。

午後1時50分閉会

地方自治法第123条第2項及び太田市外三町広域清掃組合議会会議規則
第61条の規定により、ここに署名する。

太田市外三町広域清掃組合議会議長

白 石 きと子

太田市外三町広域清掃組合議会議員

富 岡 芳 男

太田市外三町広域清掃組合議会議員

太 田 けい子